

見張り番・生駒(オンブズマン)が
取り組んだ生駒市の署名数は、

6425筆(人)でした。

奈良県
政務活動費廃止の
署名報告

奈良県で 全体は、約2万筆(人)



5月29日 生駒市選挙管理委員会に741冊6425筆提出



生駒駅での署名活動

生駒市、奈良市、橿原市、生駒郡(斑鳩・三郷・平群)、御所市、桜井市、大和高田市等で署名活動を致しましたが、約3000筆不足した結果となりました。
(直接請求は、有権者の50分1「2万3千筆」)
署名活動にご協力して頂いた皆様には、ご期待に添えず申し訳ありませんでした。

署名活動の成果

政務活動費を辞退、
返還する議員が大幅に
増加。

① 平成29年度分は、過去最高の
5478万円を返還
(交付総額1億4388万円)

② 平成30年度分は既に8人の議員(議員数43)が議員分336万円を辞退(総額2688万円)し、交付後も返還する議員も出てきますので、平成29年度よりも返還額が増加するものと予想します。

私の属する創生奈良会派は、4人が政務活動費(議員分)を辞退し、政務活動費の廃止に取り組んでいく事で、一致しています。なお、私は、本年度の議員分336万円を辞退(会派分24万円)、今迄に約1500万円を返還しています。

本年9月県議会で 政務活動費廃止の条例を 提案。

見張り番・生駒が政務活動費廃止の直接請求の条例提案ができなくなりました。しかし、署名者の意志を尊重していく事が大切であり、私が議員提案いたします。

(議員提案に必要な5人の賛同を得ています)

議員定数削減(44人↓43人)
6月県議会で可決

創生奈良(阪口所属会派)が主体的に働きかけ、定数1人削減いたしました。

議員定数
43人
1人削減!

議員定数
44人

30年度
昨年より増加!
予定

29年度
5478万円
返還
過去最高!



奈良県議会議員 阪口保

県会議員(無所属) 会派一創生奈良

【プロフィール】
元社会科教諭
現見張り番・生駒代表幹事

常任委員会：文教くらし委員会委員長
特別委員会：産業基盤強化推進特別委員
関西広域連合議会議員(県代表)

■ 自宅 〒630-0134 生駒市あすか野北3-1-3
☎0743-78-8435

■ ホームページ www.sakagutitamotu.com

城廻り線は、近鉄橿原線九条第9号踏切の改良に伴い道路の拡幅工事が行われております。今回質問する用地買収箇所は、地元の天理教郡山大教会が所有する土地の購入と補償のあり方についてです。

取得に必要となる不動産鑑定評価書の開示請求をしたところ、鑑定評価額が黒塗り、また、対象不動産の地番、地目も黒塗りで、不動産鑑定をどのように反映され、所有者と協議をして取得したのか全く分かりません。

また、補償費総括表を見ますと、補償費合計が約9億8千万円で、その内訳を見ると、建物移転補償金が約4億2千万円、建物以外の工作物移転補償金約1億1千万円、残地の工事費約3億円等となっております。

補償費の内訳がわかる根拠となる資料の開示請求したところ、45日間の開示期限の延長通知がありました。45日の延長は不自然。

城廻り線の用地買収と補償費



天理教郡山協会の用地買収箇所

そこで、知事に伺います。

45日間の長期に開示を延長したのは、不当な決定ではないか。開示文書の黒塗りは、県民の知る権利をないがしろにするもの。用地買収箇所は天理教のバス駐車場等で城廻り線に沿った一部だが、その一部の取得に、何故建物移転費が約4億円も必要なのか(建物の移転を不適切に操作した過大な移転費ではないか)。

知事答弁

補償関係の文書は総括的なものから個別詳細のものまで種々ございますので、対象文章の特定に時間を要しました。黒塗りは、地権者が鑑定評価額との違いからその価格差のみに疑問や不満が抱かれるので、天理教郡山大教会については、現在の道路に沿って連続した用地買収が必要となり、直接支障とならない建物等を敷地内で再建するため、直接支障にならない建物等についても関連で移転させる必要が生じ、補償対象としました。

再質問

建物移転補償金算出表では、昭和5年に建てた耐用年数60年、経過年数が87年の物件に補償費が支払われている。補償するためにはバスの駐車場を敷地の北側に持っていく、そういうことで、建物の移転を発生させ、耐用年数を過ぎさせてしまった建物の移転にも移転補償費等が支払われたのではないか。

知事答弁

その周りに駐車場をつくる用地が確保できないために、敷地内でやりくりをせざるを得なくなったという経緯があります。その結果、いろいろな移転費を補償する額を算定しました。



奈良県の公立小・中学校におけるクーラー設置促進

県立高等学校のクーラーの設置については、本会議、文教くらし委員会に要望をいたしました。

県は、高等学校のクーラーの設置を今後、順次設置されていく運びとなり、生徒の学習環境の改善に繋がることを期待しております。

一方、県下の市町村の小中学校の教育環境に目を向けると、クーラーの設置率については、都道府県の格差が大きいこと。また、同じ県であっても市町村によって設置率の高いところ、そうでないところの差が出ています。

私は、全ての小・中学校にクーラーの設置をすべきと考えています。

吉田教育長答弁

本県の公立小・中学校の空調設備(クーラー)普通教室の設置率が全国平均に比べ低く、市町村におきましても、県の対応などを参考にして取り組んでもらえばと考えており、これまで市町村の教育長に呼びかけてまいりました。市町村教育委員会が県内一丸となって取り組んでいただけるよう、県教育委員会としてもリーダー的な役割を果たしてまいります。



7月市長に普通教室へのクーラー設置を早急に求める要望書提出
(生駒市の普通教室の設置率3.1%)

阪口、沢田薫市議、片山誠也市議の3人で山本副市長に提出し、意見交流をいたしました。

要望等を踏まえ、7月27日小紫市長がクーラーの整備を発表しました。

今後、奈良県にクーラー設置費用の財政的な支援を求めていきます。

県政報告会のご案内

日時 9月30日(日) 午後1時～3時(12時30分開場)
北コミュニティセンター(はばたき小ホール)

内容 「チェロとギターの演奏」 北川しのぶ 水谷和大
「県政務活動費について」 松山公認会計士
「県政報告」 阪口保 質問